

ローターアクトクラブ支援

青少年奉仕委員長 山崎彰子

名古屋中央ローターアクトクラブへの本年度支援金 20 万円を贈呈致しました。



米山功労者表彰

米山記念奨学委員長 松尾雄二郎

米山功労者6回目となられました安江英雄さんに米山記念奨学会感謝状を岩田会長から伝達致しました。



卓話

「最近の経済事情」

安藤正道



8月の世界の株式市場は波乱の展開となりました。これは①中国経済の減速②国際商品及び資源国通貨と株式の下落③グローバルマネーのリスク回避の三点が背景といわれています。

しかし、最大の要因は、アメリカFRB(連邦準備制度理事会)による「9年ぶりの利上げ接近」であったと思われます。量的緩和を終了し利上げを背景に進行したドル高が、①中国の人民元高(ドルと実質的に連動)をもたらし、②原油価格を押し下げ、③新興国からの資金流出をもたらし、大きな原因であったからだと思われます。ということは、これ以上の世界同時株安を引き起こさないためには、「アメリカの利上げ先延ばしの決定が必要」ということになります。

そうした意味からも、9月16・17日のFOMC(連邦公開市

場委員会)での示唆は、重要な手がかりになると思います。基本的には、アメリカ利上げ先延ばし決定に伴う「世界経済の回復期待」になると予想し、日本株については、中長期的に見ても仕込み場であると思います。

K.R. ラビンドラン RI会長メッセージ (ROTARY JAPAN WEBより転載)

「ロータリーグローバルリワード」で賢く働く

親愛なるロータリアンの皆さん、あるところにたくましい若者がいました。この若者は、与えられた自らの仕事に精力的に取りかかり、最初の週は18本の薪を割りました。2週目も同じくらいがんばりましたが、驚いたことに、割った薪はわずか11本でした。3週目は朝から晩まで働き続けたにもかかわらず、わずか6本しか割れませんでした。がっかりした彼は親方に仕事を辞めたいと申し出ました。「力が衰えてきました。前ほどたくさんの薪が割れません」 いたって健康そうな若者を見て、親方は次のように言いました。「おのを研いでみたかい？」

「おのを研ぐですって？ そんな時間がどこにあるんですか」と、若者は憤って尋ねました。「薪を割るだけで忙しいというのに！」

仕事が思うようにはかどらない時、2倍がんばろうとするのはごく自然な反応です。しかし、時として、問題の解決法はがむしやりに働くことではなく、賢く働くことにあたりします。道具を見直し、やり方を分析してみることで、リソースを最も効果的な方法で使っていますか？ 切れないおので薪を割ろうしていませんか？

これまで20年間、私たちはロータリーで会員増強を声高に訴えてきました。目標を立て、キャンペーンを立ち上げて、会員を増やすことだけに注力してきました。しかし、ロータリー全体の会員数は依然として横ばいです。

今こそ、道具を研ぐ時が来たのです。「もっと会員を入れるにはどうすればよいか」に注意を向けるのではなく、「入会を増やし、退会を減らすために、ロータリーの会員であることの価値をどう高められるか」と問うべきなのです。その一つの方法が、7月に開始された新しい「ロータリーグローバルリワード」プログラムです。この画期的なプログラムで、ロータリアンは、世界中のビジネスやサービス業者とつながり、割引や特典を受けることができます。ロータリーとの交渉により参加した企業に加え、ロータリアンも自らのビジネスの参加を申し込むことができます。また、利用ごとに参加企業が利益の一部をロータリー財団に還元するオプションも設けられており、すでにこれを採用している企業もあります。ラインアップは毎月更新され、特典が追加されていく予定です。今すぐ Rotary.org から My Rotary に登録し、このプログラムをご利用ください。利用者が増えれば増えるほど、プログラムが充実し、特典も増えていくでしょう。

「ロータリーグローバルリワード」は、単なる顧客ロイヤルティプログラムの枠にとどまるものではありません。ビジネスと奉仕を組み合わせたこのプログラムは、ロータリアンであること、ロータリーネットワークの一員であることの価値とメリットを増す新しい方法です。入会を誘われたら、誰もがこう自問するでしょう。「自分にとってどんなメリットがあるのか？」。ロータリアンになれば、ほかの人の人生だけでなく、自らの人生も豊かにできることを示すことによって、ロータリーが持つ価値をはっきりと証明する必要があるのです。

第3回理事会議事録は次号に掲載致します。